

## 2025年度事業計画

3月10日の理事会において、2025年度事業計画が承認されました。

### 1. 航空フォワーダー事業等に関する情報発信、広報等 (定款第4条 (5)関係)

- 会員企業による国際・国内航空貨物の取扱実績の集約と対外発信
- JAFANA ニュースの定期刊行
- 協会ホームページやJAFANA ニュース等を通じた、協会の活動状況や業界動向の対外発信
- 協会ホームページ会員ページ掲載やメール配信を通じた、航空フォワーダー事業等に関連する各種情報の会員企業への提供
- 協会ホームページの抜本的見直し

### 2. 航空フォワーダー事業等に関する教育訓練の実施 (定款第4条 (2)・(3)関係)

- 国際・国内航空貨物業務に関する業界新人者向け基礎講習会の実施
- IATA (The International Air Transport Association) ディプロマ試験の合格率向上を目指した事前講習会の実施
- IATA のCBTA プロバイダーとしての航空危険物取扱教育訓練の実施
- 認定保安教育訓練支援機関としての会員企業等従業員に対する教育訓練の実施

### 3. 航空フォワーダー事業等に関する安全性の向上を図るための取り組み (定款第4条 (2)関係)

- IATA のCBTA プロバイダーとしての航空危険物取扱教育訓練の実施 (再掲)
- 認定保安教育訓練支援機関としての会員企業等の従業員に対する教育訓練の実施 (再掲)

- 航空保安制度の動向や会員企業への影響等を踏まえ、同制度のあり方に関する国土交通省との協議・調整
- 無申告危険物搭載防止キャンペーン等の実施
- その他、会員企業や荷主企業の従業員に対する危険物取扱に関する啓発活動の実施

### 4. その他、航空フォワーダー事業等のサービスの高度化等 (定款第4条 (1)関係)

- IATAのONE Record 構想や、SAF 燃料の導入による脱炭素化、成田空港の新整備構想等に関する動向についての情報収集と、会員企業への提供
- 越境 EC 事業者に対する貿易実務や梱包及び危険品取扱に関する啓発活動の実施
- 国内航空貨物事業のデジタル化の推進
- 労働時間規制や人手不足問題に対応する物流の効率化に関する行政・業界動向や会員企業における取り組みに係る情報収集と、会員企業への提供

### 5. 航空フォワーダー事業等に関する講演会、セミナー等の実施 (定款第4条 (1)・(2)・(3)関係)

- 会員の事業活動に資する講演会、セミナー等の企画開催
- 国際航空貨物航空会社委員会 (BIAC) との連携による、荷主に対する航空貨物輸送サービスや安全対策に関する啓発活動の実施

### 6. 航空フォワーダー事業等に関する国際関係機関等との交流・連携 (定款第4条 (6)関係)

- IATA との連携強化や、IATA が

主催する国際会議への参加、情報収集及び会員への情報提供

- FIATA(The International Federation of Freight Forwarders Associations) 及び FAPAA(Federation of Asia Pacific Air-cargo Associations) が主催する国際会議への参加、情報収集及び会員への情報提供
- その他、航空フォワーダー事業等に関連する国際関係機関等との交流・連携の促進

### 7. 航空貨物の通関に関する取り組み (定款第4条 (4)関係)

- 通関制度の動向に関する情報収集と、通関業務の改善や円滑化に関する関係機関との協議・連携
- 通関関連の法令遵守に係る会員及び荷主への啓発活動
- 通関業務に関する法令順守や密輸防止に関するキャンペーン実施及びセミナー開催
- NACCS の円滑な運営・システム改善に関する関係機関との連携
- 通関士の地位向上等に向けた方策の検討

### 8. 関係機関との連携 (定款第4条 (7)関係)

- 航空フォワーダー事業等に関し、関係行政機関、BIAC 等航空関係団体、航空会社、空港会社、関係自治体等との意見交換や情報共有の実施

### 9. 事務局の運営 (定款第4条 (8)関係)

- 適正コストと体制に基づいた円滑・効率的な協会運営の継続実施
- 新たな会員管理システムの導入等、協会事務局の事務作業の効率化・デジタル化の推進
- 各種規程類等の見直し・改訂

# IATA 認定資格試験について

2025 年 1 月から 3 月にかけて実施いたしました IATA 認定資格試験（危険物コース・基礎コース）の結果を報告します。

## CBTA 危険物講習会試験結果

2025 年 1 月	受験者数	合格者 (pass)	合格率	90 点以上の高得点者 (Distinction)	高得点での合格者率	不合格者 (failed)
7.1 コース	9	8	88.9%	5	62.5%	1
7.3 コース イニシャル	8	8	100.0%	6	75.0%	0
7.3 コース リカレント	0	0	-	0	-	0
7.2 コース	4	4	100.0%	4	100.0%	0
合計	21	20	95.2%	15	75.0%	1

2 月	受験者数	合格者 (pass)	合格率	90 点以上の高得点者 (Distinction)	高得点での合格者率	不合格者 (failed)
7.3 コース イニシャル	10	10	100.0%	10	100.0%	0
7.3 コース リカレント	2	2	100.0%	2	100.0%	0
合計	12	12	100.0%	12	100.0%	0

3 月	受験者数	合格者 (pass)	合格率	90 点以上の高得点者 (Distinction)	高得点での合格者率	不合格者 (failed)
7.1 コース イニシャル	11	10	90.9%	7	70.0%	1
7.1 コース リカレント	1	1	100.0%	0	0.0%	0
7.3 コース イニシャル	23	23	100.0%	18	78.3%	0
7.3 コース リカレント	8	8	100.0%	8	100.0%	0
7.2 コース	4	4	100.0%		0.0%	0
合計	47	46	97.9%	33	71.7%	1

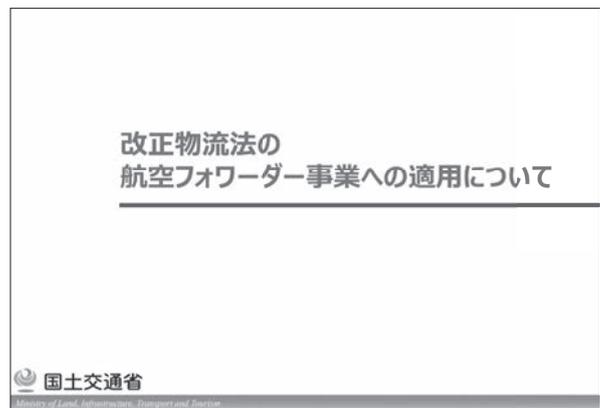
## IATA ディプロマ 基礎コース

2025 年 1 月	受験者数	合格者 (pass)	合格率	90 点以上の高得点者 (Distinction)	高得点での合格者率	欠席 (No show)	不合格者 (failed)	合格率	実際の受験者
基礎コース	74	62	83.8%	20	32.3%	7	5	92.5%	67

引き続き危険物を取り扱いされる荷主様にご紹介いただき、危険物取扱いの資格取得を推奨いたしますようお願い申し上げます。  
(国際教育委員会)

## Jafa セミナー「改正物流法の航空フォワーダー事業への適用について」

令和 6 年 5 月 15 日に流通業務の総合化及び効率化の促進に関する法律及び貨物自動車運送事業法の一部を改正する法律が公布され、荷主・物流事業者の努力義務の判断基準が示され、積載率向上、荷待ち時間削減、荷役時間短縮を中心に取り組むべき内容が明確化されました。4 月 1 日からの一部施行を間近に控え、2 月 6 日（木）、政策委員会では、国土交通省物流・自動車局貨物流通事業課より、貨物流通事業適正化推進官、田中聖也氏をお招きし「改正物流法の航空フォワーダー事業への適用について」と題し、セミナーを開催しました。セミナールーム 9 名、オンライン 169 名、合計 178 名の方々にご参加いただきました。講演後の質疑応答は、会場・オンラインを問わず非常に活発に行われ、時間内に収まらず、お寄せいただいたご質問を事後に取りまとめ、物流・自動車局よりの回答を受講者の皆さんに共有させていただきました。



(政策委員会)

# 2025 FIATA HQ Meeting 開催

2025年3月17日～19日にかけてFIATA本部会議が、FIATA本部都市であるスイス・ジュネーブのCICG（ジュネーブ国際会議センター）で開催されました。51の国と地域からFIATA会員および他のセクターからのオブザーバーや多くの機関参加者など合計230名以上が参加しました。

当協会からは国際交流委員とJAJFA事務局から合計2名が出席しました。

今回の本部会議のテーマは「Interconnecting Logistics」で、三日間で10のワークショップが開催され、ゲストスピーカーを交えての議論を行いました。そのテーマは、(1) 複合一貫輸送、(2) 航空貨物輸送の将来、(3) サイバーレジリエンス（事業継続性の維持）、(4) 将来の貨物輸送発展に向けた関係促進（関係者とは政府行政機関、荷主、輸送業者など）、(5) AEOプログラムに対するWCOの取り組み、(6) 主要複合輸送ルート（回廊）のさらなる活用、(7) FTA（自由貿易協定）の活用、(8) デジタルデータの取り扱いに関する取り決め、(9) EFBL（複合輸送における電子運送状）への移行について、(10) フォワーダーを取り巻くリスクの把握、対処についてといった大きなテーマでの討議となりました。開催地がFIATA本部所在のジュネーブという特性もあってか、ゲストスピーカーは(1) WEF（世界経済フォーラムーダボス会議を開催し

ているフォーラム）、(2) ICC（国際商業会議所）、(3) ITF（国際交通フォーラム、OECDの傘下）、(4) UNECE（国連欧州経済委員会）、(5)

World Bank Group（世界銀行グループ）、その他コンサルティング会社、輸送業者など多岐にわたるスピーカーの登壇で、活発な議論となりました。

日本は、航空輸送、海上輸送とワンモードでの輸送が主力ですが、アジア、中東、欧州、アフリカなど、世界全体で見た場合は、複合輸送が主力であり、それだけに、地政学、経済、戦争、国のルールといったことが切実な議題であることを改めて認識しました。

セッションの中では参加者全員が小グループに分かれての討議を行ったり、会議中に携帯アプリを使いアンケートを実施し参加者の回答状況をリアルタイムで確認しながら討議したり、主催者と参加者が双方向で各国の課題などを情報共有できるような工夫がなされた会議となりました。

今回の会議は、総会という位置づけでしたので、それぞれ



のワークショップについては、問題提起、それに対する活動方針が決められ、具体的な話は、10月にベトナム・ハノイで開催される FIATA WORLD CONGRESS へ引き継がれます。

JAFA 国際交流委員会としても参加予定です。

(国際交流委員会)

## 国内航空貨物危険物セミナーを開催

2025年2月19日に国内航空貨物危険物セミナーを、WEBおよびJAFA セミナールームにおいて開催しました。今回のセミナーもWEBを中心に開催したことから、全国各地から280名を超える非常に多くの方に参加をいただきました。

今回は講師として、国土交通省航空局安全部のご担当官および日本航空株式会社のご担当者をお迎えし、航空危険物取扱の注意点、無申告危険物の発見事例および撲滅に向けた取り組み、航空危険物に関わる関係法令、事業者の教育訓練等について、講師の方々の専門的な知見と資料を交えながら分かりやすく解説いただきました。

受講者のアンケートでは、総合評価で9割を超える受講者から満足または概ね満足の回答をいただいております。危険物に対する知識の向上と、無申告危険物撲滅に向けた意識の向上に有意義なセミナーになったものと考えております。

当委員会では、今後も航空危険物の適切な取扱いに関する知識の習得や教育、キャンペーン等の啓発活動を通じ、無申告危険物の撲滅に向け、継続して取り組んでまいります。

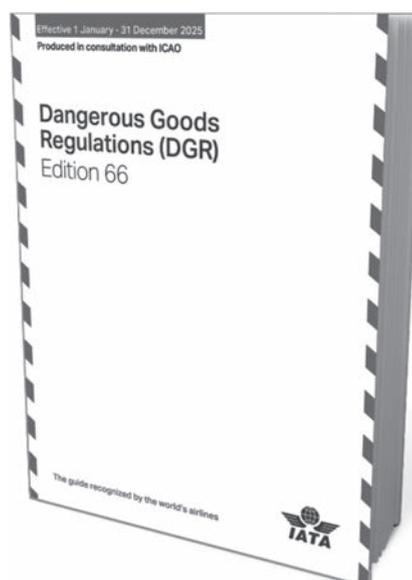


会員の皆様には各種取り組みに積極的にご参加いただき、無申告危険物の撲滅、安全・安心な航空輸送に向け、日々の業務に活かしていただければ幸いです。

(国内業務・教育委員会)

## 危険物規則書66版の改定内容説明会開催

IATAの危険物規則書は毎年改定されますが、2年に一度奇数年に大幅な改定が行われます。JAFA-BIAC共同研究会では、この奇数年の改定に合わせ、改定内容説明会を開催しています。本年も、1月29日(水)JAFA セミナールームとオンラインを併用し、危険物規則書66版の改定内容説明会を開催いたしました。荷主企業68社258名、会員企業(フォワーダー)54社305名、航空会社10社21名、合計132社より584名の皆さんに受講いただきました。実際に危険物を取り扱われる皆さんが多く、非常に活発な質疑応答が行われました。このためJAFA-BIAC共同研究会では講習会終了後も質問を受け付け、それらを取りまとめた2月に入り受講者の皆さん全員にQ&Aを共有させていただきました。(JAFA-BIAC共同研究会)



# 2025 年 IATA トレーニング機関として ATC プレミアに認定

今般、IATA 認定国際航空貨物取扱資格・基礎コース (Cargo Introductory course) において、2024 年 1 月～12 月までの受験者数と合格率が評価され、2025 年の IATA 認定トレーニングセンター (ATC = Authorized Training Center) プレミアを獲得しました。プレミア認定を受けた ATC は世界に 9 団体のみです。

(国際教育委員会)



## 委員会等活動報告

1月	10日	JAFa-BIAC 共同研究会	第26回 JAFa-BIAC 賀詞交歓会開催
	14～16日	国際教育委員会	CBTA 7.1 イニシャル
	17日	国際教育委員会	CBTA 7.2 オンライン講習会
	17日	国内業務・教育委員会	2025年度予算案検討、業務マニュアル・講習会資料検討、空港施設モニター見学等。
	20日	広報委員会	委員長の互選、JAFa ニュース 133号 (新年号) 最終編集会議、2025年度活動方針と予算
	21～23日	国際教育委員会	CBTA 7.3 リカレント
	29日	JAFa-BIAC 共同研究会	危険物規則書66版 改定内容説明会 開催
	30日	国際教育委員会	2025年度活動方針と予算要求、2025年度国際貨物基礎講習会開催の決定
	30日	広報委員会	JAFa ニュース 133号 (新年号) 発行
	30日	保安委員会	航空保安規程改定、2025年度活動方針と予算要求、第62・63回航空保安教育訓練他
	31日	国際宅配便業務委員会	2025年度活動方針と予算要求
	2月	3～5日	国際教育委員会
6日		政策委員会	JAFa セミナー「改正物流法の航空フォワーダー事業への適用について」開催
6日		国際業務委員会	2025年度活動方針と予算要求。One Record 対応について
7日		国際交流委員会	2025年度活動方針と予算要求。3月以降の国際会議出席について
14日		保安委員会	第62回 (東京)・第63回 (名古屋) 航空保安教育訓練 開催
17日		空港対策委員会	輸入 TDMS についての成田国際空港 (NAA) とのオンライン意見交換会開催
18日		国際教育委員会	IATA ディプロマ基礎コース事前講習会
19日		国内業務・教育委員会	国内航空貨物危険物セミナー開催
25日		国際教育委員会	IATA ディプロマ基礎コース事前講習会
3月	3日	政策委員会	2025年度予算 (案) 及び事業計画案の承認、2月6日開催 JAFa セミナーの振り返り他
	4～6日	国際教育委員会	CBTA 7.1 イニシャル・リカレント
	7日	保安委員会	2025年度活動計画、航空保安規程改定後の動向、その他
	11～13日	国際教育委員会	CBTA 7.3 イニシャル
	14日	広報委員会	JAFa ニュース 134号 (春号) について、2025年度記者懇談会・懇親会について、他
	17～18日	国際教育委員会	CBTA 7.3 リカレント
	17～19日	国際交流委員会	FIATA HQ Meeting @ スイス ジュネーブ 参加 (2名)
	19日	国際教育委員会	CBTA 7.2 オンライン講習会
	21日	通関業務・情報合同委員会	2025年度活動方針、国際基礎講習会・貿易実務講座への講師派遣について他
	25日	JAFa-BIAC 共同研究会	賀詞交歓会の振り返り、危険物規則書改定説明会実施報告、2025年度危険物講習会
	27日	国際教育委員会	委員交代の件
	28日	国際交流委員会	FIATA HQ Meeting 参加報告
	28日	国際宅配便業務委員会	2025年度活動について、講師派遣等

# あなたの **3** コードは？

～ JAJA 活動を支える皆様に、お仕事、経歴、趣味、ペット、故郷の自慢話、お勧めグルメ、これからの夢、得意のレア語学、今ハマっていること、推しの人、、、自由に、3点ほど語っていただきます。～



**副会長**  
**(郵船ロジスティクス株式会社)**  
**岡本 宏行**

「経歴」・「趣味」・「故郷」を、私の3コードとしてご紹介させていただきます。

(1) 経歴：1983年日本郵船入社。1986年から92年まで、郵船航空サービス渋谷貨物営業所・英国マンチェスター支店で勤務。航空フォワーダーの仕事は、船会社に比べ時間軸が短く大変でしたが、楽しい日々を過ごしました。その後、米国日本郵船ニュージャージー本社・NYKロジスティクス香港・同欧州(ロンドン)・統合後の郵船ロジスティクス欧州(アムステルダム)で勤務しました。通算外勤務は5か所15年です。船会社に入りましたが、ほとんどが物流・フォワーダー事業に従事する人生でした。これも郵船航空サービ

スでの6年間の経験(人との繋がり)が大きかったと思っており、今でも感謝しています。

(2) 趣味：全国の高校と高校野球観戦です。特に、文武両道高校、野球強豪高校に大変興味があります。自己流ですが、野球のスコアブックをつけることもできます。各都道府県に応援したい高校が10校程ずつあり、会社を卒業したら、10年位かけ、北海道から沖縄まで、県予選・地区大会の応援に行くことが夢です。

学生さんの入社面接の際は、高校時代の思い出話を聞いています。高校時代が充実している学生さんの好感度は高く、いつも◎が付いてしまいます。また、当社社員が承諾してくれば、出身高校を質問5つで当てさせてもらっています。全国を対象でも的中率75%、結構良い結果ではないかと思っています。

(3) 故郷：土佐の高知で生まれ育ち、高校卒業するまでを過ごしました。自慢は、

- ・美味しい「日本酒」(司牡丹・土佐鶴・亀泉等々)
- ・春と秋の「カツオたたき」と「皿鉢(さわち)料理」、冬は「クエ鍋」
- ・酒の肴：「酒盗」(カツオはらわた)、「のれそれ」(アナゴ稚魚)、「どろめ」(カタクチイワシ稚魚)
- ・「四万十川」と「仁淀川」の清流、「足摺岬」と「室戸岬」
- ・プリンプリンの「土佐文旦」、「ごっくん



妻と桂浜

馬路村(ゆずジュース)、「野根饅頭」  
・「よさこい祭り」(8月の高知市内は大盛り上がり)

- ・昼から大宴会の高知城下「ひろめ市場」
- ・坂本龍馬像の「桂浜」に、朝ドラくらんまん>舞台「牧野植物園」

高知県には長年安芸市をキャンプ地とする阪神タイガースのファンが沢山います。今年は、高知県出身の藤川球児さんが監督となり、大いに盛り上がっています。また、今年4月から始まった朝ドラくあんぱん>も、高知が舞台。地元では元気満載の女性をくハチキン>といいますが、今田美桜さんがハチキンを見事に演じています。

坂本龍馬を生んだ高知には、大らかで明るく酒好きな人たちが大勢います。

「まあ、いっぺん高知に来てみいや。こじゃんと面白い処やきねえ。」



**空港対策委員会 委員長**  
**JAJA-BIAC 共同研究会 委員長**  
**(株式会社近鉄エクスプレス)**  
**森脇 英典**

私の3つのテーマは、JAJAにおける委員会活動、ロシア法人での経験、そして50歳後半で初めての単身赴任生活です。

JAJAにおける委員会活動の話から始めます。現在、JAJA-BIAC共同研究会、政策委員会、空港対策委員会の3つの委員会に所属していますが、今回はJAJA-BIAC共同研究会の活動を紹介します。この研究会では、国際航空貨物航空会社委員会に所属する各航空会社の皆様とともに、航空貨物の安全輸送や輸送品質向上を目指した活動を行っています。具体的には、荷主を

対象とした危険物実務者講習会の開催、危険物取扱パンフレットの作成、適切な梱包方法の啓発活動、さらには成田空港地区の貨物施設見学会の企画を進めています。委員会では常に熱い議論が交わされ、各社のプロフェッショナルから刺激を受けています。また、年間最大イベントである新年賀詞交歓会では、2025年に初めて司会を務めさせていただきました。委員会活動に興味があれば、ぜひご参加ください。

次に、ロシア法人での話です。2021年4月から2022年12月まで、弊社ロシア法人社長を務めました。業容拡大と収支改善を目標に赴任しましたが、文化と言語の壁に苦労しました(笑)。ロシア語の家庭教師を通じてロシア人気質についても学び、ウォッカを囲む社内パーティで現地社員との絆を深めることで、チーム力を醸成しました。収支改善が見え始めた頃、ウクライナ侵攻が発生し、断腸の思いで帰任しました。現在もロシアに対する経済制裁が続いていますが、当時の仲間は私にとってかけがえのない存在であり、一日も早く平穏な日々が戻ることを祈っています。

最後に、単身赴任生活についてです。ロシアから帰国後も単身赴任生活が続き、現在は横浜市南区の弘明寺界隈で暮らしています。11世紀に建立された弘明寺は横浜最古の寺院で、貴重な文化財が多く、静かな街並みが魅力です。週末は商店街に



モスクワ支店のスタッフ達



大岡川の桜並木

あるテイクアウト専門の焼鳥店で鶏にんにく串やつくねを芋焼酎とともに楽しんでいます。3月末から4月初旬には、大岡川沿いで桜祭りが開催され、街が華やかに彩られます。ぜひこの季節に訪れてみてください。